

都市再生整備計画(第1回変更)

とうかいどうはらじゆくちく
東海道原宿地区

しずおか ぬまづし
静岡県 沼津市

平成26年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	沼津市	地区名	東海道原宿	面積	81 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 26 年度				

目標 大目標 原の資源を活用した、歴史・文化が薫るまちづくり 目標1 原の歴史的資源の活用による、地区のにぎわいの再生 目標2 地区の歴史・文化と調和する、風情あるまち並みの形成

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 沼津市の西部に位置する原地区は、駿河湾に面しており、富士川・狩野川からの土砂が長い年月の中で堆積し、それが沿岸州となり、浮島潟、浮島湖と変遷し、その後も愛鷹山の河川からの土砂が加わって浮島沼となった。その周囲は沼沢地となり、浮島ヶ原ができあがったもので、「原」の地名はこれに由来すると言われている。 古代の街道は、沼の北の山裾を通っていたが、平安中期以降の東海道は、海岸沿いを通るようになる。江戸時代になると原宿二町（東町・西町）と大塚町で東海道原宿を形成し、東海道五十三次の13番目の宿駅として、東西の交通の安全と街道整備の拠点として発展した。明治22年には、原町が誕生し、その後、昭和30年の浮島村との合併を経て、昭和43年に沼津市と合併し、現在に至っている。 地区内には、江戸時代に往来する諸大名やシーボルトなどが立ち寄ったとされる名園「帯笑園」や禅宗の名僧「白隠」の「松蔭寺」をはじめ地区内に点在する寺など歴史的な資源や国道1号沿いに続く桜並木や浮島沼越しの富士の景観など地域固有の資源が点在しており、地域振興のために有効活用することが求められている。 沼津市都市計画マスタープランにおいては、「特色ある自然環境、歴史的資源の保全、活用を図りながら、南北道路の充実や生活道路網の整備、オープンスペースの確保など市街地の整備を進め、自然と歴史の魅力を感じるまちづくりをする。」としている。この計画を受け、平成10年度より「密集住宅市街地改良事業」の実施、平成18年度には「東海道原宿地区都市再生整備計画（第1期）」、「原・浮島地区まちづくり基本構想」の策定、平成19年度には「白隠のみち整備基本構想」の策定を行い、南北道路の整備、狭隘道路の解消、オープンスペースの創出など住環境の向上に努めると共に、緑化の推進、カラー舗装・街路灯の整備など自然環境・歴史資源の活用にも努め、現在に至っている。 また、現在策定中の「沼津市景観計画」においては、白隠のみち地区が景観形成重点地区に位置づけられ、歴史や文化を感じる風情ある景観づくりが求められている。
課題 【歴史的資源の保全・活用】 帯笑園、白隠のみち、東海道等の歴史的資源が点在しているが、まちづくりに十分活かされておらず、保全・活用が必要である。 【歴史に相応しい景観づくり】 地区の歴史に相応しいまち並みとなっていないことから、歴史や文化を感じる風情ある景観づくりが必要である。
将来ビジョン（中長期） 「歴史・自然・暮らしが調和した西の玄関口」 第4次沼津市総合計画（策定中）：人と環境を大切にす県東部広域拠点都市・沼津 沼津市都市計画マスタープラン（H13）：西の玄関口づくりと自然・歴史を活かしたまちづくり 原・浮島地区まちづくり基本構想（H18）：豊かな自然や歴史資源を活用した、住んで訪れて楽しいまちづくり 白隠のみち整備基本構想（H19）：白隠のこころと歴史を大切にす、やすらぎの”白隠の里”

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
帯笑園の来園者数	人/年	帯笑園の年間来園者数。	地区のにぎわいの再生を帯笑園への来園者の人数で評価を行う。	0	平成22年度	3000	平成26年度
歴史的資源の活用への実感度	%	地区の歴史的資源がまちづくりに活用されていると感じる住民の割合。	歴史的資源のまちづくりへの活用を地区住民へのアンケートによって評価を行う。5割の住民が実感することを目標とする。	45	平成22年度	50	平成26年度
まち並みの整備に対する実感度	%	地区の歴史・文化に相応しいまち並みになっていると感じる住民の割合。	風情あるまち並みの形成を地区住民へのアンケートによって評価を行う。5割の住民が実感することを目標とする。	45	平成22年度	50	平成26年度

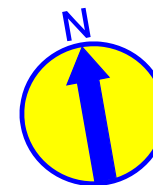
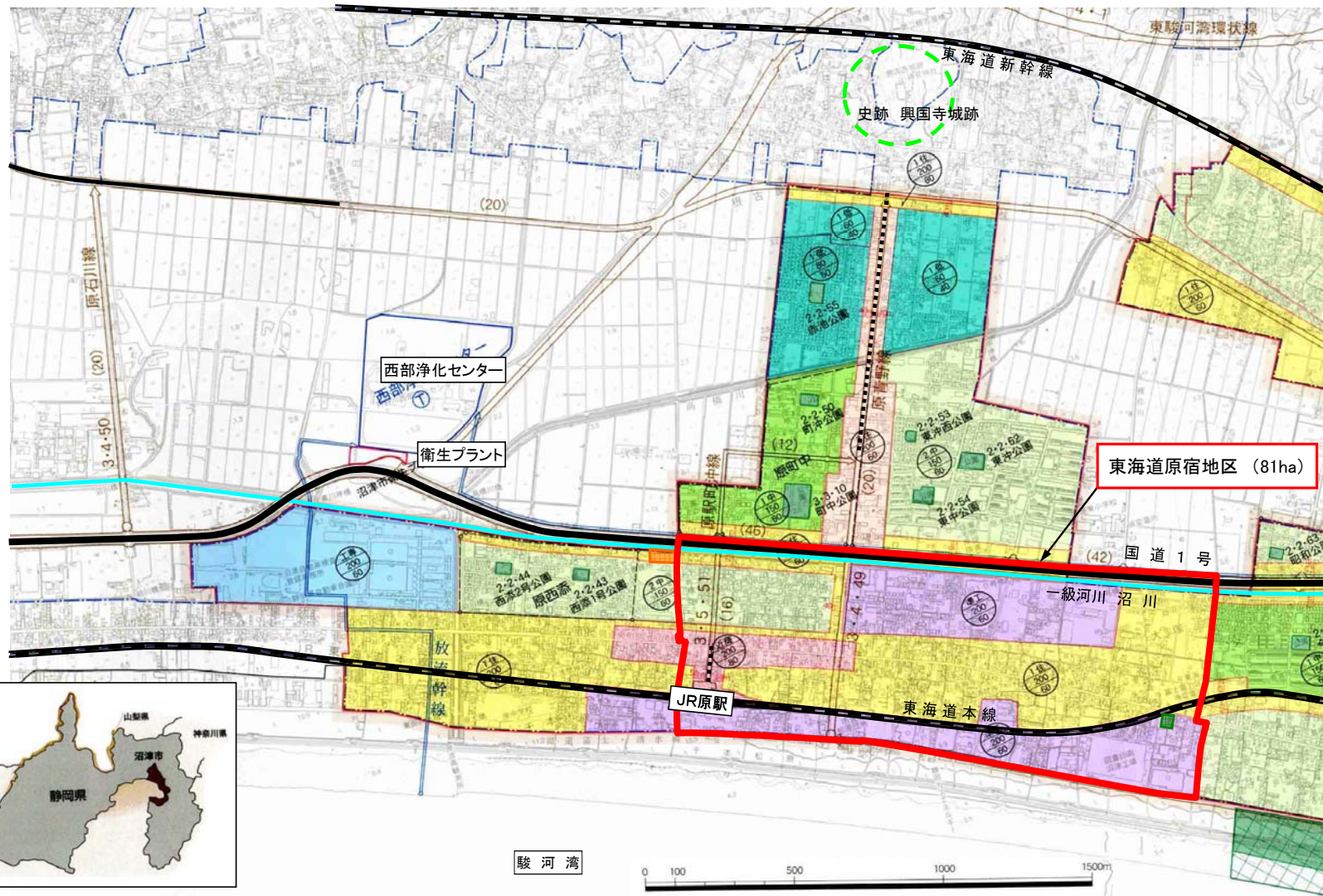
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【歴史的資源活用による賑わいの再生】 帯笑園及び白隠のみちの整備を実施することで、歴史的資源の有効活用を図り、来訪者の誘引及び地区住民の誇りを育て、地区のにぎわいの再生を図る。</p>	<p>■道路：市道2215号線、市道2219号線、市道2220号線、市道2222号線 ■地域生活基盤施設(広場・駐車場)：帯笑園整備事業 ■地域生活基盤施設(情報板)：白隠のみち ■高質空間形成施設：街灯 ■高質空間形成施設：舗装 ○白隠のみち事業地区内広場整備事業(関連事業) ○市道0204号線道路改良事業(関連事業)</p>
<p>【風情あるまち並みの創出】 地区の歴史に相応しい舗装や街灯等の整備を実施することで、風情あるまち並みの創出を図る。</p>	<p>■道路：2215号線、市道2219号線、市道2220号線、市道2222号線 ■地域生活基盤施設(広場・駐車場)：帯笑園整備事業 ■地域生活基盤施設(情報板)：白隠のみち ■高質空間形成施設：街灯 ■高質空間形成施設：舗装 ○白隠のみち事業地区内広場整備事業(関連事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>【官民協働によるまちづくりの実施】 ・白隠のみち整備にあたっては、平成17年度に地元自治会、商工会、寺院等の代表者によって設立された「白隠のみち整備協議会」と共に、整備内容の検討・提案・合意形成を図り、官民協働によるまちづくりを進めていく。 また、協議会が円滑に進行する様に必要な支援(運営支援・事例視察の支援等)を行っていく。</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>東海道原宿地区(静岡県沼津市)</p>	<p>面積 81 ha</p>	<p>区域 原の一部 大塚の一部</p>
------------------------	-----------------	----------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



駿河湾



東海道原宿地区(静岡県沼津市) 整備方針概要図

目標	大目標	原の資源を活用した、歴史・文化が薫るまちづくり	代表的な指標	帯笑園の来園者数 (人/年)	0 (H22年度)	→	3,000 (H26年度)
	目標1	原の歴史的資源の活用による、地区のにぎわいの再生		歴史的資源の活用への実感度 (%)	45 (H22年度)	→	50 (H26年度)
	目標2	地区の歴史・文化と調和する、風情あるまち並みの形成		まち並みの整備に対する満足度 (%)	45 (H22年度)	→	50 (H26年度)

